

2025年度 慶應義塾大学 一般選抜

文学部 小論文 解答例

設問Ⅰ

問題文全体の要旨をまとめる要約問題。課題文は、現代の世界文学をめぐる状況について、様々なアプローチを対比的にあげながら、世界文学を読むとはどのようなことであるのかを論じている。アプローチの対比や例の軽重を見分け、文章の構成の仕方を把握した上で、既定の字数内で過不足なく著者の世界文学に対する考えを要約してまとめる読解力と表現力を問うている。

設問Ⅱ

以下の力を総合的に問うている。すなわち、論点にそった具体的な他の事例を示すことができるかという着想力、論点と事例を適切に結びつけて議論をふくらますことができているかという展開力、400字という枠内で論理的にまとめられているかという構成力、問題文中のキーワードを使うことはあっても、いかに豊かな語彙や表現を動員して、説得力のある文章に組みあげられるかという表現力である。

問題文にある世界文学についての筆者の考えをふまえ、文学を読むとはどのようなことであるのかについて自説を展開できているかどうかのポイントとなる。具体例を用いて論じていても、抽象的に論じていてもよい。

以上